

沿岸定線観測速報 ちば (2023年5月)

千葉丸：5月12～19日

千葉県水産総合研究センター

千葉県農林水産技術会議

令和5年5月31日

黒潮は、房総半島に接岸して北東へ流れていました(図2)。

水温は、銚子・九十九里海域は平年よりやや高め基調、外房海域は平年並でした(表1)。

【詳細】

各水深における平均水温は、銚子・九十九里海域は水深0, 50, 200mでやや高めでした。外房海域はいずれの水深も平年並でした(表1)。

水深10mでは、水温16～21℃の範囲で顕著な水温勾配(フロント)が見られました(図3)。また、太東岬沿岸の水深10mは水温16℃、塩分34.0PSUで、周囲より低温、低塩分化していました(図3,4)。鉛直分布を見ると、先月は水深150m以浅が高水温で一様になりその下方に顕著な水温躍層が見られましたが、今月は海面から水深500mまで徐々に水温が低下していました(図5)。黒潮は房総半島に接岸して北東に流れていました。また、犬吠埼沖の黒潮縁辺付近では3ノットを超す流れが見られました(図2)。

クロロフィル濃度は、九十九里沖(C14)の水深10mが1.8μg/Lとやや高くなっていました(図7)。

キンメダイ漁場の底層水温は、勝浦沖は12℃台で前年より1℃高め、銚子沖は13℃台でした(前年は欠測)(図8)。

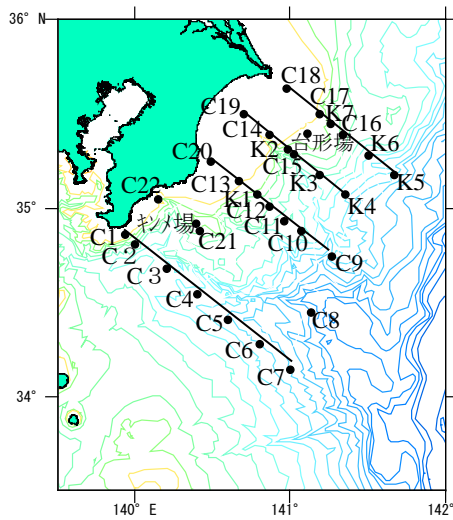


図1 調査点

線は北から犬吠埼、九十九里、太東岬、野島埼南東線

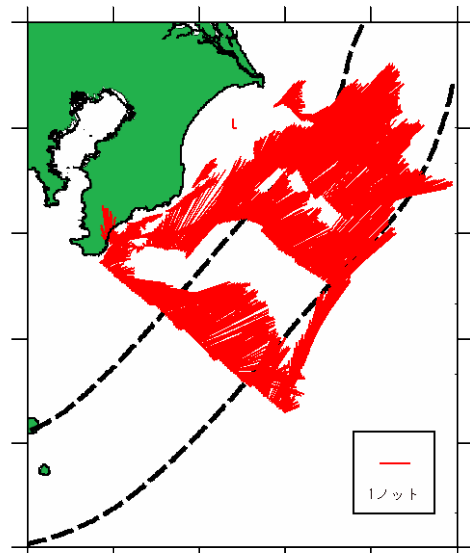


図2 黒潮流路(破線)と流況

表1 海域別平均水温(℃)と評価

海域	0m	50m	100m	200m
銚子・九十九里	19.77 やや高め	18.62 やや高め	16.08 平年並	14.18 やや高め
外房	20.07 平年並	17.65 平年並	15.85 平年並	14.27 平年並

*水温評価点 銚子・九十九里海域：C14～20 計7点、外房海域：C1,3,11,13,21,22 計6点

*沿岸水温評価の目安(σ：標準偏差)

きわめて高め	2.0 σ～
高め	1.3 σ～2.0 σ
やや高め	0.6 σ～1.3 σ
平年並	0.0 σ～0.6 σ, -0.6 σ～0.0 σ
やや低め	-0.6 σ～-1.3 σ
低め	-1.3 σ～-2.0 σ
きわめて低め	-2.0 σ～

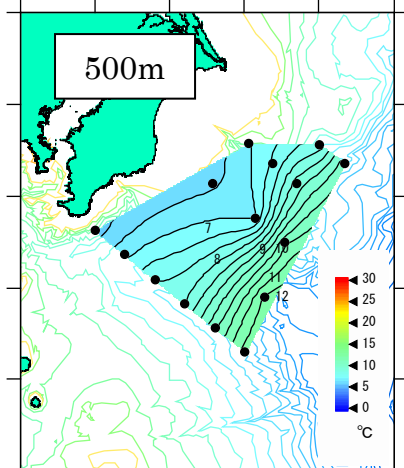
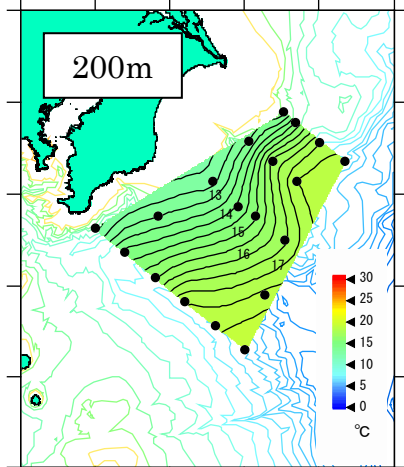
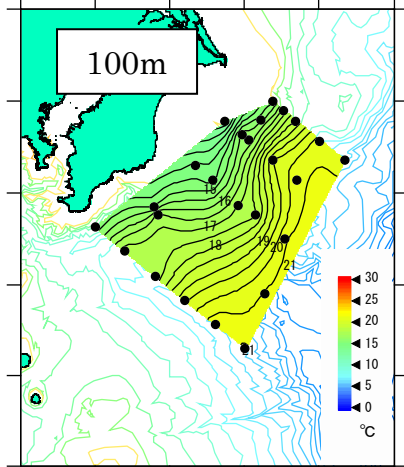
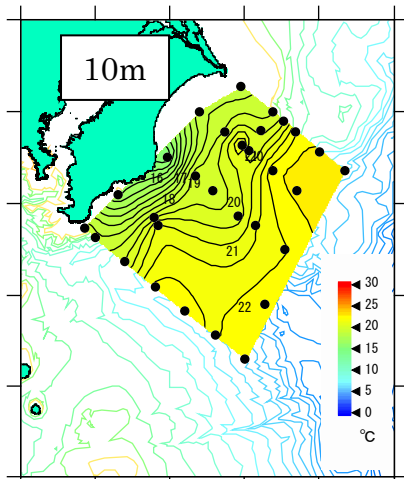


図3 水深別の水温分布

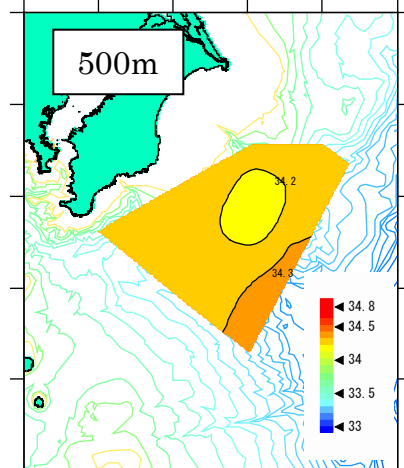
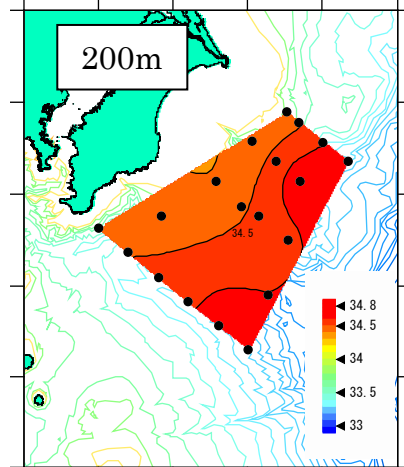
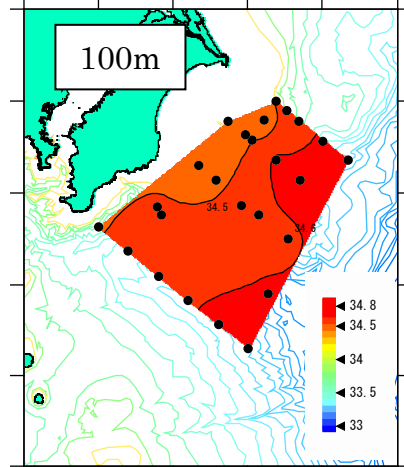
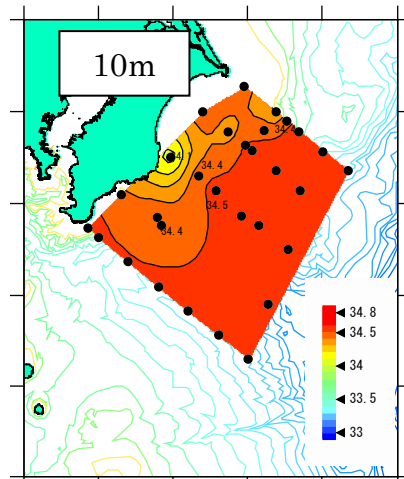


図4 水深別の塩分分布

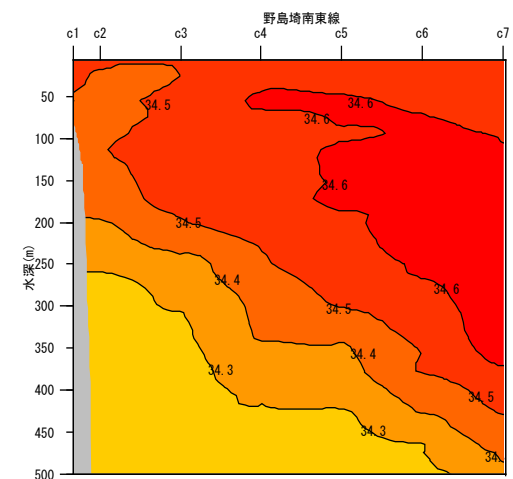
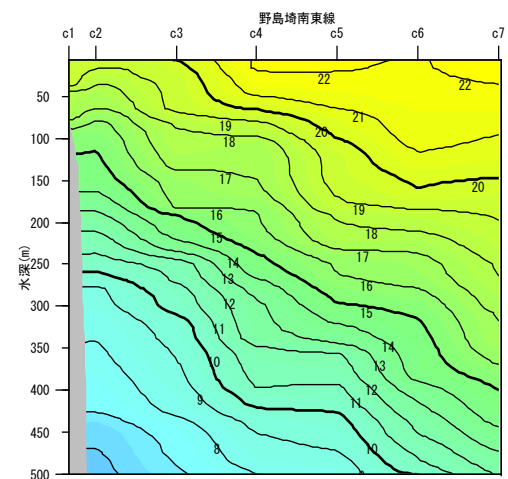
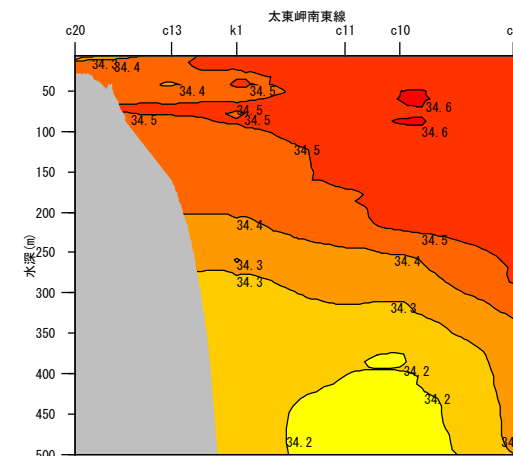
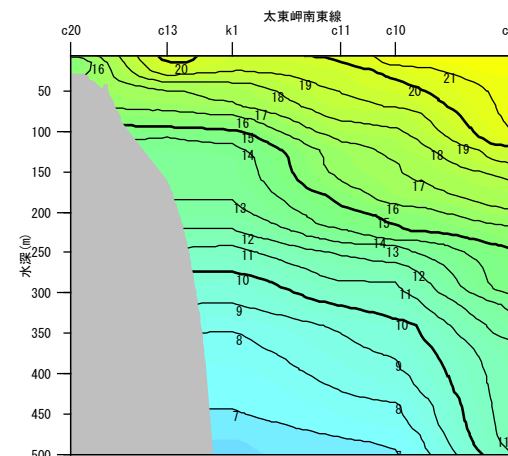
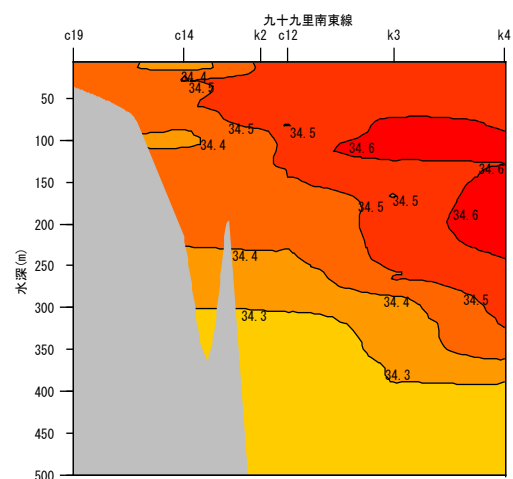
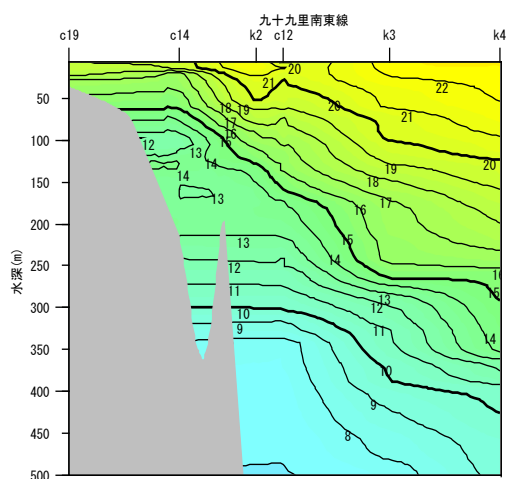
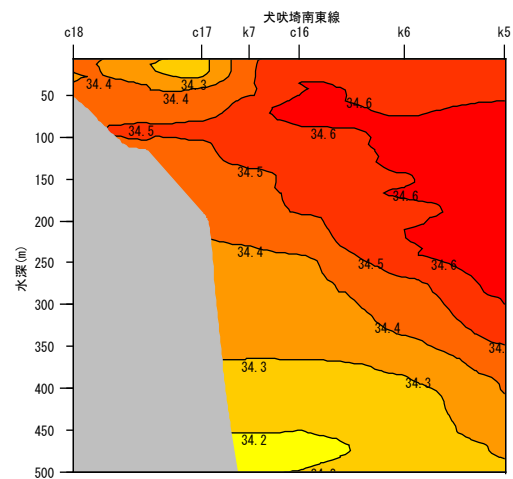
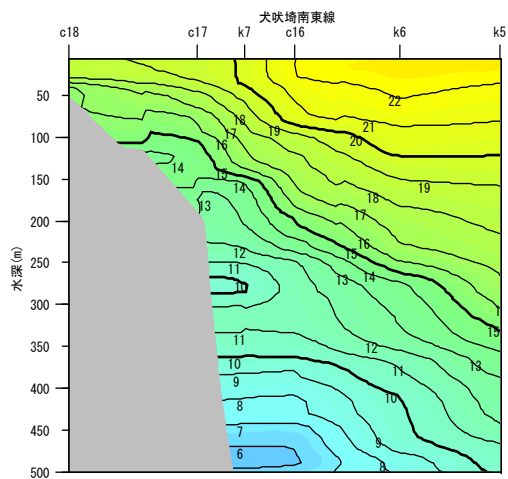


図5 水温鉛直分布

図6 塩分鉛直分布

上から犬吠埼，九十九里，太東埼，野島埼南東線（図1参照）

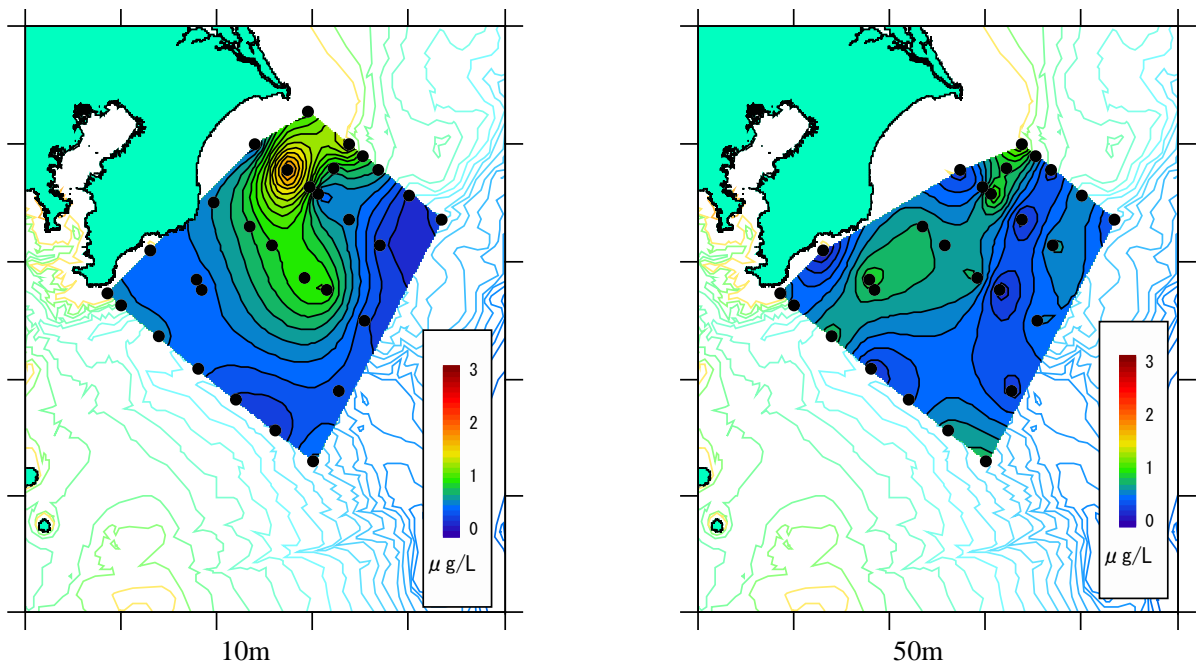
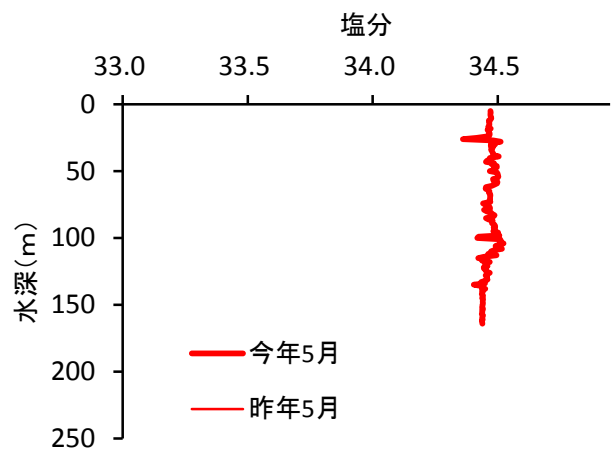
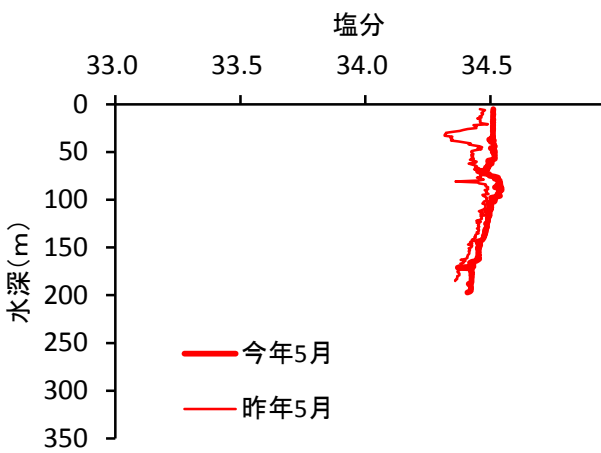
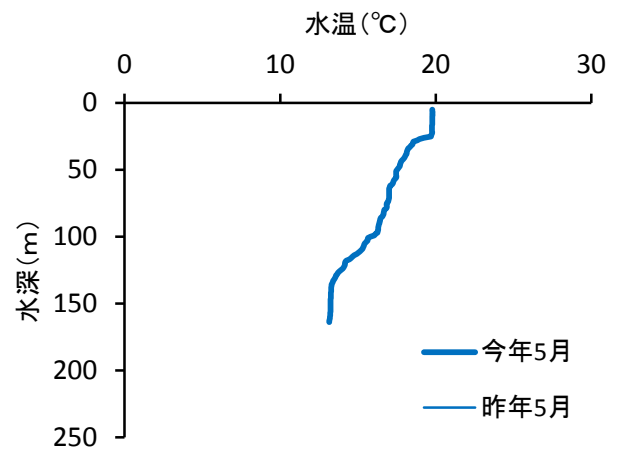
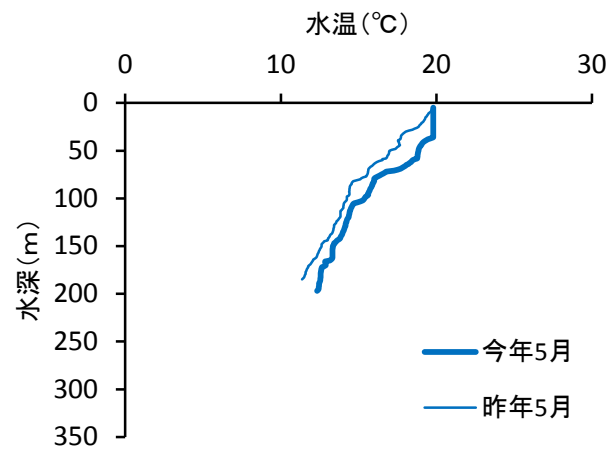


図7 水深別のクロロフィル分布 (単位: $\mu\text{g/L}$)



勝浦沖キンメ場

銚子沖台形場

図8 キンメダイ漁場の水温, 塩分鉛直分布 (青: 水温, 赤: 塩分)